

◆◇ 本号の目次 ◇◆

A. 素形材センター事業トピックス【☆☆●●】

- A-1. 素形材技術研修講座「鋳鉄の生産技術」のご案内 New★
- A-2. 令和6年度「素形材産業貢献表彰」の受賞者決定!! New★
- A-3. 「素形材産業技術賞」および「素形材産業経営賞」を経産省で紹介・展示 New★
- A-4. 素形材経営セミナー「素形材分野のデジタル技術活用による企業変革と価値創出
その課題と処方箋 DX 推進に向けての経営者の役割」のご案内
- A-5. 素形材技術セミナー「鋳造欠陥における『新なぜなぜ分析手法』と
実際の現場での活用事例の演習」のご案内
- A-6. 素形材技術研修講座「軽合金鋳物の生産技術」のご案内
- A-7. 月刊誌「素形材」2025年1月号特集掲載原稿募集のご案内【締切延長: 11月22日】

B. 素形材センター出版物情報【●☆☆●】

- B-1. 月刊誌「素形材」令和6年10月号 (Vol. 65, No. 10)

C. 素形材業界関連一募集・トピックスー【●●☆☆】

- C-1. 第441回講習会 第30回最先端の研究室(工場)めぐり New★
「精密測定機器開発の最前線 - 小坂研究所」 【公益社団法人精密工学会】
- C-2. オンライン教育講座「構造材料(2) 非鉄材料編」 【公益社団法人日本金属学会】
- C-3. 第97回塑性加工技術フォーラム「部材軽量化技術の最先端」
【一般社団法人日本塑性加工学会】【一般社団法人日本鍛圧機械工業会】
- C-4. 2024年度 第3回熱処理技術セミナー「熱処理基礎講座II」のご案内
【一般社団法人日本熱処理技術協会】
- C-5. 第186回塑性加工学講座<Web開催>
「板材成形の基礎と応用 ~応用編~」 【一般社団法人日本塑性加工学会】
- C-6. 第440回講習会
「レーザ加工技術の現在(いま) - 実用技術から最新研究まで -」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人精密測定技術振興財団】
- C-7. 第19回エレクトロヒートシンポジウム<Web開催>
「電気チカラでGXに貢献 めざせ!世界をリードする脱炭素技術」
【一般社団法人日本エレクトロヒートセンター】
- C-8. 「中小企業海外ビジネス人材育成塾」のご案内
【独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)】
- C-9. 2024年度粉末冶金講座のご案内 【一般社団法人粉体粉末冶金協会】

D. 素形材産業政策関連一トピックス・募集等一【●●●☆】

- D-1. 統計 【経産省】New★
- D-2. 2024年度冬季の電力需給対策を取りまとめました 【経産省】New★
- D-3. 日本政府館アテンダントの専用ユニフォームを決定しました 【経産省】New★
- D-4. 「愛知県産業立地セミナー2024 IN 東京」の参加者を募集します 【愛知県】

A. 素形材センター事業トピックス【☆☆●●】

〇〇

A-2. 令和6年度「素形材産業貢献表彰」の受賞者決定!! New★

11月1日開催の「第30回素形材月間記念式典」において、下記の素形材産業貢献表彰を行いました。

【素形材産業技術賞】は、経済産業大臣賞1件、経済産業省製造産業局長賞2件、素形材センター会長賞1件、素形材産業技術表彰委員会特別賞1件及び奨励賞4件です。また、表彰対象者のうち、中小企業の経営者自らが開発者である受賞者の中から選出した産業デザイン財団賞は1名です。

【素形材産業経営賞】は、今年度創設された表彰で、中小企業庁長官賞が1名、経済産業省製造産業局長賞が3名、素形材センター会長賞が4名受賞されました。

【素形材産業優良従業員表彰】の受賞者は42名です。また同受賞者のうち鋳物関係従業員の中から久保田長太郎賞、並びに西村茂賞としてそれぞれ1名が受賞されました。

受賞者の皆様、おめでとうございます！

なお、各賞の受賞者、並びに受賞概要については、下記URLよりご覧いただけます。

■第40回素形材産業技術賞

<https://www.sokeizai.or.jp/pages/142/>

■第1回素形材産業経営賞

<https://www.sokeizai.or.jp/pages/47/>

■第62回素形材産業優良従業員表彰

<https://www.sokeizai.or.jp/pages/48/>

〇〇

A-3. 「素形材産業技術賞」および「素形材産業経営賞」を経産省で紹介・展示 New★

「素形材月間」の一環として、経済産業省素形材産業室のご協力をいただき、本年度の素形材産業技術賞及び経営賞のうち同省より授与されたものについて受賞概要の紹介と製品展示を同省の本館ロビーで行います。

同省への入館手続きをせずにご入場いただけますので、お気軽にご来場ください。

■展示会場：経済産業省本館ロビー（東京都千代田区霞が関 1-3-1）

https://www.meti.go.jp/intro/index_access.html

■展示期間：令和6年11月6日（水）～29日（金）

※土日・祝祭日は入場できません。

■（ご参考）素形材月間

<https://www.sokeizai.or.jp/pages/45/>

〇〇

A-4. 素形材経営セミナー「素形材分野のデジタル技術活用による企業変革と価値創出
その課題と処方箋 DX推進に向けての経営者の役割」のご案内

100年に一度と言われる大変革期、素形材産業の中でもDXに取り組む企業が増えてきてい

ます。しかし、大企業を中心に成果を上げている企業も見られる一方で、規模やリソース、業態によって進捗に差が見られ、特に中小企業では現場のデジタル技術導入に対する抵抗感や、具体的な進め方がわからない等課題はまだ多いようです。

これらの課題を乗り越えてDXを推進するには経営者が積極的に関与することが極めて重要とされております。本セミナーでは経営者がDXに向けて実践すべき事柄について全体並びに情報セキュリティの観点からご講演頂きます。DX推進の一助とされるよう是非ご参加下さい。

■日 時 12月16日(月) 13:00～15:00 オンライン開催 (Cisco Webex)

■プログラム

講演1 「～DX経営による企業価値向上に向けて～

企業DX推進政策の全体像及びデジタルガバナンス・コード3.0のポイント」

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長補佐 栗原 涼介 氏

講演2 「サイバーセキュリティ経営ガイドライン3.0の実践 経営者が認識すべき3原則」

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) セキュリティセンター

リスクマネジメント部 セキュリティ制度グループ 研究員 小杉 聡志 氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。

<https://www.sokezai.or.jp/pages/28/>

【問合せ先】

一般財団法人 素形材センター 企画部 e-mail:kikaku@sokezai.or.jp

oo

A-5. 素形材技術セミナー「鑄造欠陥における『新なぜなぜ分析手法』と
実際の現場での活用事例の演習」のご案内

鑄造不具合を、繰り返し起こっているような慣例化した不具合名で、処理してしまっている事は多くないでしょうか？真の不具合原因を突きとめる事ができなければ、正しい対策を打つことはできません。鑄造は、液体から個体への相変態を伴う加工法であるために、他のものづくりとは異なる鑄造独特の不具合の傾向とその分類手法があります。本セミナーの「新なぜなぜ分析手法」は、不具合品を、場所「部分・全体・内側・外側」や様子「模様・穴・異物」形態「平滑・ギザギザ・自形・他」で分類し、最後に因子「鑄型・溶湯」に分けて考察することにより、正しい不具合名とその主たる原因を見つけ出す、QC手法とは異なる鑄造独特の新しい不具合解析の手法です。グループ討議を通じて「新なぜなぜ分析手法」を体感して頂く内容です。鑄造欠陥特有の分類手法で欠陥を分類し、名医のように欠陥の原因と対策ができる技術者を育てる事を目的としたセミナーです。多数の方々のご参加をお待ちいたしております。

●日 時 令和7年1月24日(金) 10:00～17:00

機械振興会館 地下3階 研修2号室 東京都港区芝公園3-5-8

●プログラム

講師 (株)木村鑄造所 菅野利猛 氏

1. 「新なぜなぜ分析手法」の説明
2. グループ討議によるなぜなぜ分析の演習 (不具合事例1)
3. グループ討議によるなぜなぜ分析の演習 (不具合事例2)

グランドプリンスホテル高輪 地下1階「プリンスルーム」

◇定員:

150名

◇申込:

下記申込専用Webページからお申し込みください。

<https://seminar-success.com/p/r/Dk0Zf60r>

詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/seminar-tokyo2024.html>

- 「メルマガ素形材」は、基本、毎月2回程度で発行致します。
次回をお楽しみに！
- 「素形材業界関連—募集・トピックス等」に掲載ご希望の方は、
「1. 件名 2. 主催者名 3. 概要 4. HPリンク先」
を記載の上、mail@sokeizai.or.jp までお送り下さい。
- 登録内容の変更、配信停止希望はこちら(メルマガの申込 / 配信停止ページ)から
ご連絡下さい。
<https://www.sokeizai.or.jp/pages/114/>
- お問合わせ、ご意見、ご感想、また掲載内容のご要望はこちらからご連絡下さい。
gyomu@sokeizai.or.jp
- メルマガ 素形材は、今回で第429号となります。メルマガ素形材は“利用しやすい素
形材情報”を目指して発信しています。より多くの方にご覧いただくことで内容の充実を
図りたいと思っています。
読者の皆様のご意見、ご感想はもちろんのこと、ご関係の方々を当センター事務局にご紹
介・ご連絡下さい。

- 発行元：〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 3階 301号室
一般財団法人 素形材センター

TEL：03-3434-3907 FAX：03-3434-3698 <http://sokeizai.or.jp/>

※ドメイン変更による不着メールが多くなっております。ご所属機関のドメインが変わら
れた際には必ずお知らせくださいますようお願い致します。